

エコドライブ活動の目的・役割、 優秀取組事例、実践方法について

2025年12月18日
グリーン経営業務室 参事
熊井 大

目的・役割



公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

SDGsは企業に求められる経営姿勢 #13気候変動対策

Sustainable Development Goals (2030年までに達成すべき持続可能な開発目標)

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任使う責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう

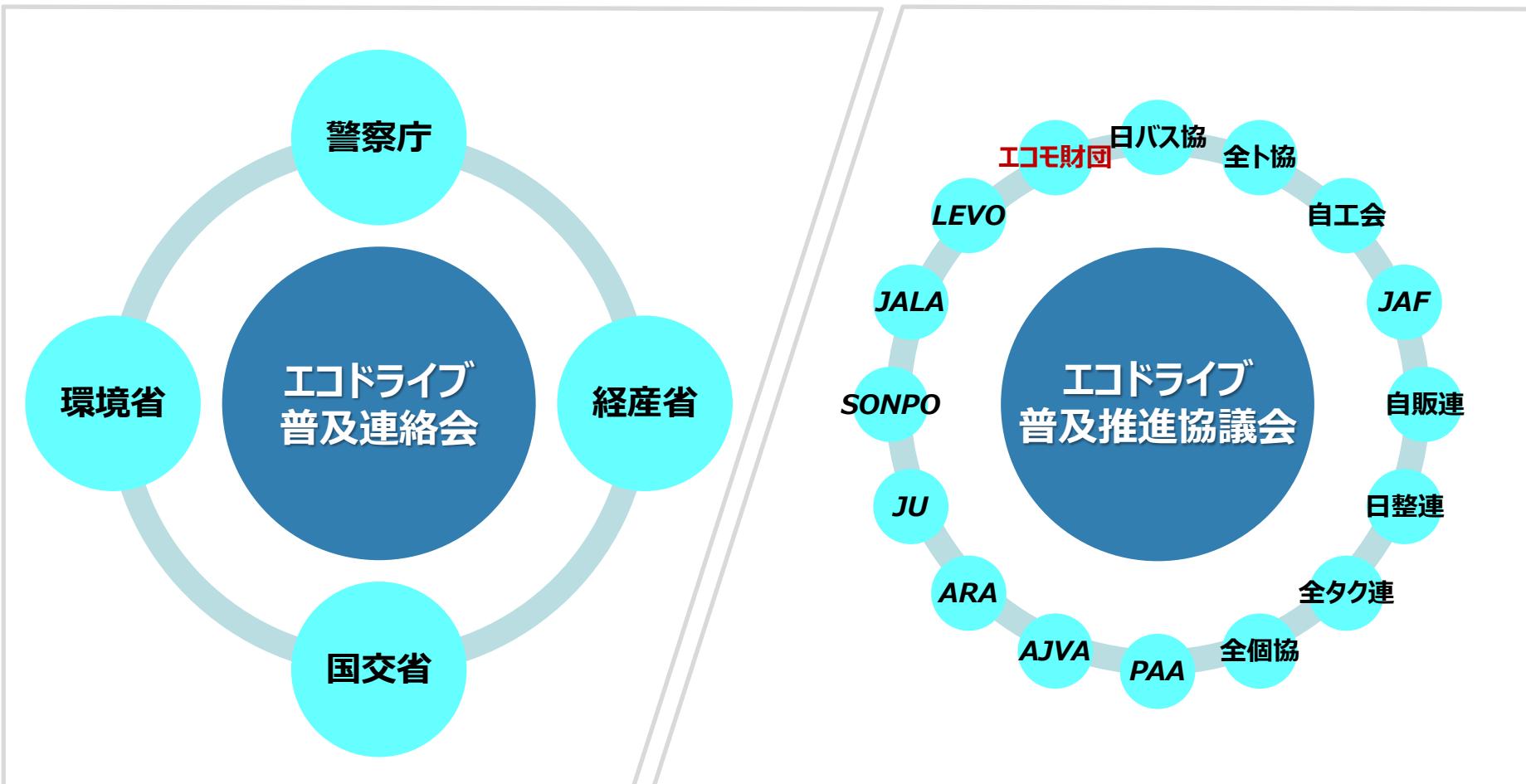


THE GLOBAL GOALS
For Sustainable Development



公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

日本のエコドライブは官民一体で普及推進



エコドライブ10のすすめ
毎年11月はエコドライブ推進月間

エコドライブ10のすすめ

2020年1月27日 警察庁、国土交通省、環境省



エコドライブとは、燃料消費量やCO₂排出量を減らし、地球温暖化防止につなげる「運転技術」や「心のかけ」です。また、エコドライブは、交通事故の削減につながります。燃料消費量が少ない運転は、お財布にやさしいだけでなく、同乗者が安心できる安全な運転でもあります。心にゆとりをもって走ること、時間にゆとりをもって走ること、これもまた大切なエコドライブの心がけです。エコドライブは、誰にでも今すぐ始めることができるアクションです。小さな意識を習慣にすることで、あなたの運転がよくなって、きっと社会もよくなります。できることから、はじめてみましょう、エコドライブ。

1 自分の燃費を把握しよう

自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果が実感できます。車に搭載されている燃費計・エコドライバビゲーション・インターネットでの燃費管理などのエコドライブ支援機能を使うと便利です。

2 ふんわりアクセル「eスタート」

発進するときは、緩やかにアクセルを踏んで発進しましょう（最初の5秒で、時速20km程度が目標です）。日々の運転において、やさしい発進を心がけるだけで、10%程度燃費が改善します。焦らず、緩やかな発進は、安全運転にもつながります。

3 車間距離にゆとりをもって、 加速・減速の少ない運転

走行中は、一定の速度で走ることを心がけましょう。車間距離が短くなると、ムダな加速・減速の機会が多くなり、市街地では2%程度、郊外では6%程度も燃費が悪化します。交通状況に応じて速度変化の少ない運転を心がけましょう。

4 減速時は早めにアクセルを離そう

信号が変わると停止することがわかったら、早めにアクセルから足を離しましょう。そうするとエンジンブレーキが作動し、2%程度燃費が改善します。また、減速するときや坂道を下るときにもエンジンブレーキを活用しましょう。

5 エアコンの使用は適切に

車のエアコン（A/C）は車内を冷やす機能です。運転のみ必要なときは、エアコンスイッチをOFFにしましょう。たとえば、車内の温度設定が外気と同じ25°Cであっても、エアコンスイッチをONにしたままだと12%程度燃費が悪化します。また、冷房が必要なときでも、車内を冷やすしないようにしましょう。

6 ムダなアイドリングはやめよう

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐車中の停車は、アイドリングはやめましょう。10分間のアイドリング（エアコンOFFの場合）で130cc程度の燃料を消費します。また、現在の乗用車では基本的に暖機運転は不要です。エンジンをかけたらすぐに出発しましょう。

7 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

出かける前に、渋滞・交通規制などの道路交通情報や、地図・カーナビなどを活用して、行き先ルートをあらかじめ確認しましょう。たとえば、1時間のドライブで道に迷い、10分間余計に走行すると17%程度燃料消費量が増加します。さらに、出発後も道路交通情報をチェックして渋滞を避けねば燃費と時間の原約になります。

8 タイヤの空気圧から始める 点検・整備

タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう。タイヤの空気圧が正圧より不足すると、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化します。また、エンジンオイル・オイルフィルター・エアクーラー・エアメントなどの定期的な交換によっても燃費が改善します。

9 不要な荷物はおろそう

運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。車の燃費は、荷物の重さに大きく影響されます。たとえば、100kgの荷物を載せて走ると、3%程度も燃費が悪化します。また、車の燃費は、空気抵抗にも関係します。スキーキャリアなどの外装品は、使いないときには外しましょう。

10 走行の妨げとなる駐車はやめよう

迷惑駐車をやめましょう。交差点付近などの交通の妨げになる場所での駐車は、迷惑をもたらします。迷惑駐車は、他の車の燃費を悪化させるばかりか、交通事故の原因になります。迷惑駐車の少ない道路では、平均速度が向上し、燃費の悪化を防ぎます。

エコドライブ普及連絡会

（警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省）

エコドライブ普及推進協議会HP→ www.mlit.go.jp/eco/car/index.html



公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

エコドライブのあれこれ

エコカーや、燃費の良い車に乗りましょう。

電気自動車、ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車、燃料電池自動車といった次世代のエコカーはもちろん、従来のエンジン車でハイブリッド車並みの低燃費を実現したエコカーもあります。環境にやさしいエコカーでエコドライブしてみませんか。



詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.mlit.go.jp/eco/car/index.html>
環境省HP 「次世代自動車の普及促進」



ハイブリッド車・電気自動車のエコドライブ運転方法のコツは？

答え：モーターができるだけ活用しましょう。

■発進と加速はモーターの得意分野（ハイブリッド車のみ）
モーターの力でゆっくり発進し、エンジンが作動したら目的速度までモーターの力もかかしてゆっくり加速。その後はアクセルを離れてできるだけモーターのみで走行することで燃費が良くなります。



■ブレーキは発電のチャンス

減速時に早めにアクセルを離してやさしくブレーキを踏み、長い距離をかけてゆっくり停止しましょう。やさしくブレーキを踏むとモーターで発電した電力がバッテリーに充電されます。次の発進・加速時に再利用するので燃費が良くなります。

ハイブリッド車のエンジンの稼働図
(できるだけエンジンがかからない運転をしましょう)

エコドライブ支援ツールを使いましょう。

様々なエコドライブ支援ツールを利用して簡単にエコドライブに取り組めます。

①エコドライブランプ[®]を点灯するように運転しましょう。車の制御が変わることになり、燃費が良くなります。



＊メーカーによって名前は異なります。

②エコドライブスイッチ[®]をONにしましょう。車の制御が変わって、ゆっくり加速しやすくなり、燃費が良くなります。



エコドライブで交通事故が減るんです。

ゆっくり発進、ゆっくり停止、十分に車間距離をとるなどエコドライブを心がけることで運転にゆとりが生まれます。これにより交通事故が約80%減少したという報告もあります。エコドライブでエコだけでなく安全運転にもなって一石二鳥ですね。

エコドライブ学習前 エコドライブ学習後 約60%減少

交通事故件数/百万km	エコドライブによる交通事故減少の割合
5	0
4	10%
3	20%
2	30%
1	40%
0	50%

*1 エコドライブランプを点灯するための条件をクリアしている車は、以下の条件で運転するときにこの表示をします。（自動ドライブシステムによって運転する場合は運転席側の表示となります）
・自動ドライブシステムで運転する場合、運転席側の表示となります。
・運転席側の表示が表示される場合、運転席側の表示が表示されます。
・エコドライブランプの表示は運転席側の表示が優先され、運転席側の表示が優先され、運転席側の表示が優先されます。
*2 タイヤの空気圧は1ヶ月で1回測定します。
*3 エコドライブランプは、EV、PHEV、FCVの車両に表示します。

【新】

1. **自分の燃費を把握しよう**
2. ふんわりアクセル「eスタート」
3. **車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転**
4. 減速時は早めにアクセルを離そう
5. エアコンの使用は適切に
6. ムダなアイドリングはやめよう
7. 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
8. タイヤの空気圧から始める点検・整備
9. 不要な荷物はおろそう
10. 走行の妨げとなる駐車はやめよう

まずは燃費の記録

燃費の変化で運転を振返る

PDCAで燃費を改善し続ける

車間を開けると心がひらく

視界がひらける

情報量が増える

多い情報が処理できる

安心して心がひらく

環境意識が優しくさせる

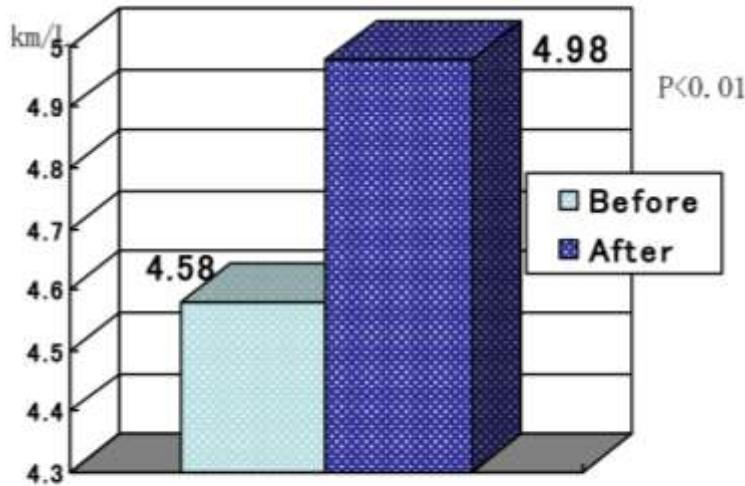


エコドライブ活動による燃費改善と交通事故低減

(間地寛・春日伸予・石太郎・大聖泰弘)

エコドライブ活動：事業所でエコドライブを推進する活動

燃費 +8.7%



Average fuel consumption for "before and after eco-drive activities"

Fig. 2 Improved fuel consumption

事故 ▲51%

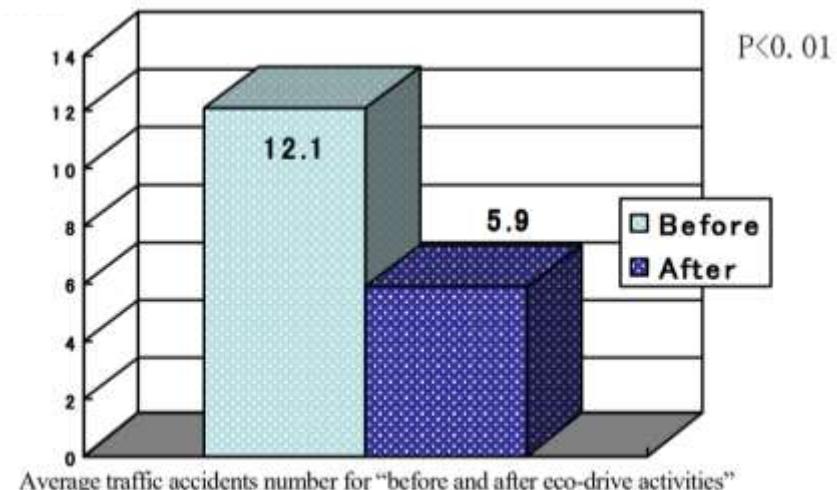


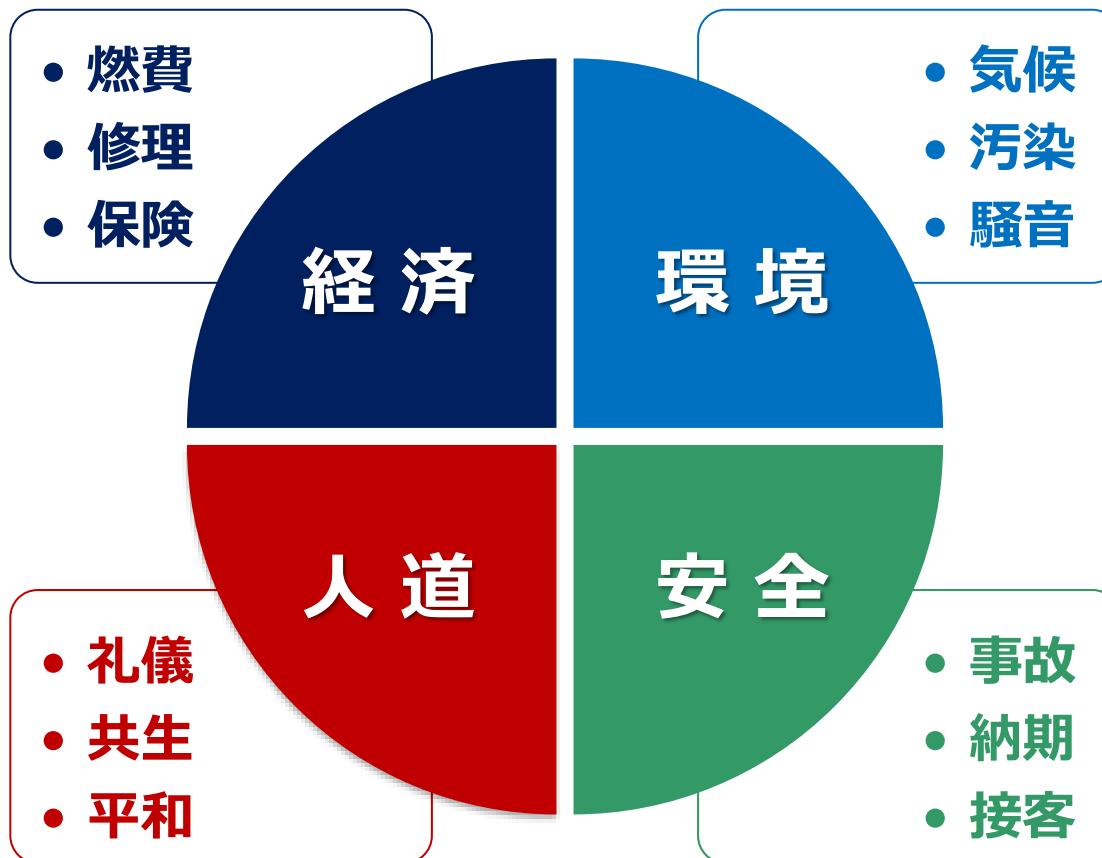
Fig. 6 Fluctuation of number of traffic accidents

<http://www.tta-gep.jp/archivePDF/Ronbun-2.pdf>



公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

エコドライブ活動の目的・役割



優秀取組事例



公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transition

エコドライブ活動コンクール 公式サイト

2025 年度
エコドライブ活動コンクール

HOME お知らせ コンクールとは 募集要項 応募の流れ Q&A ログイン

2025 年度 受賞事業者が決定しました！

国土交通大臣賞
環境大臣賞
審査委員長特別賞
優秀賞・優良賞・認定証
受賞結果はこちらから！

2025.12.01 「2025年度エコドライブ活動コンクール」二次審査結果のフィードバックが公開されました！ お知らせ一覧

事業部門
トラック・バス・タクシーなどの
運送事業者
東京 〇〇〇
12-34
新規受付は終了しました

一般部門
運送業以外の一般事業者
東京 〇〇〇
56-78
新規受付は終了しました

支援ビジネス・ユニーク部門
支援ビジネス・ユニーク部門の
詳細については
下記リンクからご確認ください
【募集要項ページへ】
新規受付は終了しました

<https://www.ecodrive-activity-concours.jp/>

エコドライブ活動コンクール 優秀取組事例集



「環境にやさしい取り組みをしている運輸事業者」を認証する制度が、グリーン経営認証です。
国土交通省及び各事業団体の協力を得て、エコモ財団が推進しています。

公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団
〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル10階
交通環境対策部 TEL:03-5844-6268 FAX:03-5844-6294

2024年度

エコドライブ活動コンクール 優秀取組事例集



公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団

https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/data/ecodrive-activity-concours-2024jirei_pdf.pdf



メルダスシステムエンジニアリング株式会社

所在地：愛知県名古屋市東区葵1-19-30
業務内容：流通業(小売業)
拠点数：9
従業員数：144名
車両数：52台
活動実績：9年



ワンチームを目指して取り組むエコドライブ活動

販売会社のため、営業担当者による個人主体の業務が中心となることから、全社員が一つのチームとして活動する機会が少なかった。そのため、全社員が「ワンチーム」となつて一つの目標に向かって成果を出せる活動がしたいとの

気運がありエコドライブ活動を開催。

毎月1回、独自のエコドライブ全社月報を発刊、部門・拠点単位での燃費実績や給油実績、エコドライブ実施状況、運転者別での燃費ベスト5などを掲載し、社内インターネットを用いて周知することで全社員への浸透を図っている。

エコドライブ活動の成果

2016年度比

22.2%燃費向上
事故件数37.5%削減

受賞事業者の声

活動をはじめ9年でこの様な名誉ある賞を頂き大変嬉しい光栄に思っております。
今後も更なる「環境に優しい企業」を目指し取り組んで参ります。

エコドライブ活動 主な基本取組



全体取組

- ISO14001の活動として全社でエコドライブに取り組む
- 社長がトップ、管理部長が推進責任者となり、ISO委員が実務を行いエコドライブ活動を推進



環境方針カード

- 独自の環境方針カードを全社員が携帯
- JAFや環境省などの教育資料を使用



燃費目標

- ドライバーが始動した際に運転日報へ給油量、給油時の距離、燃費を記入し毎週提出したものを作成部で一括管理



燃費向上

- 2013年度比で、36.1%燃費が向上（改善したことで5百万元／年のガソリン代を削減）
- 2016年度比で、事故件数が37.5%減少



活動実績

- 2011年より、燃費向上や交通事故削減を目的にエコドライブ活動を開始
- ガソリン車からHV車への切り替えを促進しており、社有車の76.9%がHV車

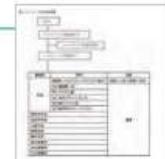


エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

全社一丸となって取り組むエコドライブ活動の組織構成



エコドライブ推進組織

全社員で取り組むエコドライブ活動

全社員が「ワントーム」となり、一つの目標に向かって取り組むツールとしてエコドライブ活動に注力。

エコドライブ活動において事故減少やコストダウンなど明確な効果を出すため、社長をトップとしたエコドライブ推進組織を設置。

さらに、各拠点にエコドライブ推進担当者を配置することで、全社一丸となって活動を推進。また、エコドライブ活動のサポートとして、安全衛生活動やISO14001の活動などと連動。

教育の実施

評価ポイント

多くの教育機会を設け社内のエコドライブに関するノウハウを向上させる工夫



エコドライブ講習会

社外講習を活用しつつ、社員を社内のインストラクターに認定

部門ごとに教育計画を策定し、地球環境に関する社内講習の実施や、自社環境方針カードを全社員が携行するなど環境面からのエコドライブ教育に注力。

また、社内インストラクターを増員するため、会社として自治体やJAFが主催する「エコドライブ講習会」へ積極的に参加しており、社員のモチベーション維持やエコドライブ技術の向上を目指す工夫を継続的に実施。

教育の実施

評価ポイント

業務で運転しないドライバーも対象とした教育



Eラーニング

Eラーニングを活用した社内のエコドライブ教育

月に1回、運転免許を持っている社員全員を対象に交通安全教育に関するEラーニングを実施。

カリキュラム内にはエコドライブに関する教育も含まれており、エコドライブが交通安全につながる点をわかりやすく啓発することで、会社全体のエコドライブ意識を向上。

継続実績と方策

評価ポイント

部門ごとの燃費を集計しエコドライブの結果を全社員に周知



エコドライブ部門別月報 エコドライブ全社月報

「エコドライブ全社月報」「部門別月報」を毎月発行

部門担当者ごとにエコドライブの実施状況をチェックシートに記入し、部門ISO委員が燃費実績と併せて取りまとめ、その結果を踏まえ上長がコメントを記載。その後、ISO事務局が全部門より集めた「エコドライブ部門別月報」を集計し、「エコドライブ全社月報」にまとめ全社員に展開。

さらに、コラムなども掲載し、エコドライブをより身近に感じられるよう工夫するなど、社員のエコドライブ意識の向上に貢献。



公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation



株式会社日産フィナンシャルサービス

所在地：千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1
WBGマリヴァエスト14階
業務内容：金融・保険業
拠点数：1
従業員数：729名
車両数：172台
活動実績：6年



テレマティクスを活用した社内外向けのエコドライブ活動

2015年よりエコドライブ活動をスタート。継続的に活動を進めていく中で、テレマティクスを活用した取組の効果に着目。エコドライブの習慣化を目的としたテレマティクスの活用を積極的に推進している。

また、毎年開催しているカーリース顧客向け「エコ&セーフティードライバコンテスト」では、**「テレマティクス活用部門」を新設**。社内だけにとどまらず、社外へもテレマティクスを活用したエコドライブ活動を推奨する活動も行ってい

エコドライブ活動の成果

2015年度比
16.6%燃費向上 (ガソリン車2000cc以下)
85.3%削減 (すべての事故)

受賞事業者の声

環境大臣賞の受賞は大変光栄な事であると同時に、身が引き締まる思いであります。
日産グループの企業として「ZERO EMISSION」[ZERO FATALITY]の実現に貢献できるよう、この取り組みを社員一丸となり、さらに推進し広くお客様に普及させていきたいと考えております。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組 体制・目標 点検・整備	行動規範にて「環境保護・交通安全」を明記 インターネットで全社員に周知
教育の実施	環境問題 教育資料 教育実施	年に1度、全社員を対象とした、 行動規範研修を行い、理解度測定を実施
燃費管理	燃費目標 燃費向上	燃費情報は、社用車別、部門別、 車種別など細かく把握し全社に公開
活動成果	事故管理 对外活動	テレマティクスの運転監視機能と事故・危機の発生情報を分析、 分かりやすく顧客企業がドライバーの運転姿勢とその傾向を把握
継続実績と方策	活動実績 エコカー等 独自工夫	エコカー(EV・セミ電動車・純白自動車)、 安全運転指導車(緊急ブレーキ)の積極的な導入 テレマティクスの運転監視・各種検知データを分析し、組織から個人に焦点をあてた教育の実施

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント
役員筆頭の推進体制とエコドライブの習慣化へのアプローチ

企業一丸となって実施するエコドライブ活動

「業務における事故から社員を守りたい」といった経営方針のもと、加害・被害、人身・物損を問わずすべての事故を対象とした事故削減を目指しており、事故の未然防止のための運転行動としてエコドライブを推進。

全社一丸となってエコドライブ活動を推進するため、役員を筆頭に部長、次長クラスの幹部メンバーで構成されたエコドライブ推進体制を構築。月1回の定期会議では、毎月の走行データや燃費推移を展開するなど、エコドライブの進捗管理を実施。さらに、テレマティクスの点数や事故状況、燃費の推移を部署別に管理。現場のマネジメントにも落としこんでいます。これにより現場でもテレマティクスの点数や動画などを共有し話題とする文化ができつつある。



教育の実施

評価ポイント
テレマティクスデータの徹底活用、
リモート講習など先進的なエコドライブ活動

豊富なデータと経験に基づくドライバー教育

社内教育資料には、安全な運転行動がエコドライブであることを納得してもらう資料を独自に作成。エコドライブなぜ事故が減るかを具体的に示したほか、テレマティクスから得られる自社の事故動画や危険な運転動画などを教育資料に反映し、社内で得られた知識を蓄積し活用。

また、継続的な活動でエコドライバーが社内に定着しつつあり、綿密な講習会から、新入社員や新任管理職にターゲットを絞った講習会を行っている。さらに、オンラインを活用したリモート講習も実施。場所や時間の制約が少くなり、受講率が向上。社内で実施したりモート講習の手法を顧客企業へも広めている。



社内講習資料

活動成果

評価ポイント
顧客企業へのエコドライブ波及効果のある取組を実施

顧客向けコンテストに「テレマティクス活用部門」を新設

カーリース契約の顧客向けに毎年開催している「エコ&セーフティードライバコンテスト」にて、テレマティクス活用部門を新設。顧客企業を巻き込んで取組でテレマティクス活用を積極的に推進することで、社外にも効果的なエコドライバーの取組方法を広めている。

エコドライバーの実施度合いをテレマティクス機器によって点数化し、目標設定に利用することを顧客企業に推奨。テレマティクス機器の導入だけに注力するのではなく、効果的な活用方法など、当社で蓄積したノウハウを広く顧客企業へ公開し、顧客のエコドライブ・事故削減を推進している。



テレマティクス活用部門

活動成果

評価ポイント
エコドライブの習慣化に関する分析と
その結果の波及活動

テレマティクスを活用したエコドライブの論文を発表

今までの活動の成果からエコドライバーと事故削減の学術的なアプローチとして、論文「テレマティクスを活用した「エコドライブ+法令順守」の習慣化」を作成。日本交通心理学会にて発表することで、テレマティクスを活用したエコドライバーの推進が事故削減に成果をもたらすことを学会会員へ訴えた。

この論文は大手自動車教習所のコラムに取り上げられるなど、更なるエコドライブ普及に向けて影響を与えている。



論文「テレマティクスを活用した
「エコドライブ+法令順守」の習慣化」



公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation



DINS関西株式会社 GE事業所

所在 地：大阪府西区築港新町1-5-38
業務内容：廃棄物処理業
掲 点 数：1
従業員数：74名
車両 数：8台
活動実績：16年



質の高い取組をグループ全体に浸透するよう活動

環境保全活動の一環としてエコドライブ活動を開始。具体的な目標値を設定し、車種・使用用途ごとの燃費管理や講習の実施など、質の高いエコドライブ活動を行っている。コロナ禍で講習会等が中止になる中、**社内独自で従業員向け講習を実施**。レベルの高い活動を継続し、現在では社内全体に質の高いエコドライブの取組が波及し始めている。

エコドライブ活動の成果

2007年度比
**22.1%燃費向上
(小型自動車)
無事故継続
(すべての事故)**

受賞事業者の声

環境大臣賞という栄誉ある賞を受賞でき、大変光栄です。今回の受賞を励みに、今後も従業員一丸となりエコドライブに努めてまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

	全体取組 体制・目標	・エコアクション21環境活動を通じ、エコドライブ活動を実施
	点検・整備 環境問題 教育資料	・日常点検は車両使用ごとに実施、定期点検は時期・ルールを決めて実施
	教育の実施 教育実施	・エコアクション21委員会にて環境問題について毎月講論 ・使用用途が異なるため、車両別ごとに教育資料を分けて教育
	燃費管理 燃費目標	・記録した燃費データを毎月のエコアクション21委員会にて報告
	燃費向上 事故管理 対外活動	・2007年度比で 22.1%燃費向上(小型自動車) ・エコドライブ活動以前より事故件数を管理
	活動実績 エコカー等 独自工夫	・2006年より活動開始 ・コネクティッドカーを導入し走行データや燃費などをクラウドで管理

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

活動成果などを効率的に水平展開する仕組みを構築

エコアクション21委員会を起点とした情報共有の仕組みづくり

毎月、各部署のエコアクション21委員会が集まる委員会を開催し、燃費結果を含む環境活動の進捗状況を報告。報告内容は部署ごとに実施する内部コミュニケーションと共にされ、全従業員に周知できる仕組みが構築されている。

さらに、エコアクション21の活動を通してエコドライブだけでなく、「ガス」「電気」「水」「廃棄物」削減などにも取り組んでいます。全社で取り組むことで、環境活動や環境負荷低減の意識を醸成。エコドライブに取り組む目的の幅が広がり、より従業員に浸透しやすくなっています。



エコアクション21委員会

教育の実施

評価ポイント

燃費改善につなげる工夫を凝らしたエコドライブ活動

車両の使用用途別の講習や独自の教育資料を作成



大型車用・普通車用講習会

活動成果

評価ポイント

徹底した燃費把握で取り組むエコドライブ活動



燃費計の活用

細やかな燃費分析や燃費計で取組を活性化

担当部署が満タン法で燃費を算出し、車種毎の燃費推移を管理。目標達成・未達の要因を毎月分析し記録している。

また、ドライバーが常に瞬間燃費と平均燃費を把握できるよう燃費計を活用。車両に燃費計が標準搭載されていない場合は燃費計を後付けし、全車両でアセルルの踏み方にによる燃費の変化などをすぐに把握できるようにしている。

エコドライブの実践結果を分かりやすくドライバーに伝わるように工夫することで、意識高く活動を実施できる体制を整えている。

活動成果

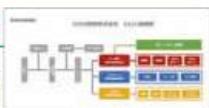
評価ポイント

1つの事業所で始めた活動が企業全体に波及

エコドライブの取組が企業全体の環境活動のレベルアップに貢献

もともと別会社だった4つの事業所が個別の環境活動を行っていたが、近年は徐々に取組内容を統合。その結果、GE事業所が実施していた質の高いエコドライブ活動はDINS関西全体の環境活動のレベルアップに貢献している。

今後はさらなる活動規模拡大に向けて、グループ企業全体で高レベルなエコドライブ活動に取り組むことを目指していく。



グループ体制図





仲田総業株式会社 川田事業所

所在地：栃木県宇都宮市川田町836-3

業務内容：廃棄物処理業

得点数：1

従業員数：25名

車両数：39台

活動実績：13年



現場の意見を積極的に活動に取り入れ活動レベルを高める

2009年に取得したグリーン経営認証とエコアクション21をもとに、全社的にエコドライブ活動に取り組んでいる。

トップダウンでの制度や仕組みづくりだけでなく、現場ならではの気づきを取組に活かし車両ごとに異なる目標を設定するなど、ドライバーの積極的な取組参加を図る。

エコドライブ活動の成果

2020年度比

6.9%燃費向上
(中型ディーゼル車)
事故件数50.0%削減
(保険適応)

受賞事業者の声

この度は大変名誉ある「優秀賞」をいただき誠にありがとうございます。エコドライブ活動は経営と現場が一体となり、能力を結集して取組んだことにも評価を頂いたものと心より御礼申し上げます。

エコドライブ活動 主な基本取組

	全体取組 体制・目標	・グリーン経営認証、エコアクション21に基づきエコドライブ活動を実施
	点検・整備 環境問題 教育資料 教育実施	・タイヤの空気圧や排ガス(黒煙)を定期的にチェック ・環境行動計画を策定し、全社的にエコドライブ活動に取り組む 毎日の社内安全教育マニュアルの読み合わせによる安全管理 安全教育マニュアル
	燃費目標 燃費向上 事故把握 対外活動	・毎月ドライバー全員が安全運転自己診断書を提出し、心身・健康の把握と管理 燃費データはエコドライブ推進責任者が監視、結果は本社の報奨度でダブルチェック グリーン経営認証、エコアクション21に掲げる指標として目標燃費を設定 エコアクション21 報奨方法
	活動実績 エコカー等 独自工夫	・2020年度比6.9%向上(中型ディーゼル車) ・事故は自社指定の報告書で管理 エコドライブ活動コンクールへの参加を地元新聞や車両への大型ポスター掲出などで周知 3ヶ月単位でエコドライブと安全運転を評価、褒美する取組を実施
	・2009年より活動開始。同時にグリーン経営認証を取得 ・テレマティクス装備車のドライバーには進行データを活用した教育を実施	

エコドライブ活動 主な応用取組

教育の実施

評価ポイント

専門性の高い教育・指導を行う工夫

各分野の専門家を講師に招くエコドライブ講習

長年取引をしているエコドライブ活動に関する専門家を招き、定期的に講習会や指導を依頼。自動車販売メーカーやタイヤメーカー、保険会社など様々な分野の専門家からの指導を受けることで、ドライバーだけでなく、管理・担当者も新たな気づきが得られている。

また、複数の分野について講習を受けることでマンネリ化を防げるとともに、エコドライブを楽しむポイントが見つけやすく、ドライバーの積極的な活動参加につながっている。



講習会風景

燃費管理

評価ポイント

運搬重量などを考慮してエコドライブの実施度合いを評価

徹底したデータ分析により実現した納得感のある燃費指標

燃費データは運行日報に基づき全車両の走行距離、給油量、運搬重量を毎日PCに入力し管理。さらに、3か月ごとに燃費データを集計し社内連絡表に記載することで、ドライバーを含む全従業員にエコドライブ活動の成果を共有している。

また、各ドライバーのエコドライブの実施度合いは、単純な燃費結果だけで判断せず運搬重量なども考慮した独自の指標で評価。実態に合わせた燃費評価ができるよう工夫することで、ドライバーが納得感を持ってエコドライブ活動に参加できている。



燃費データの掲示

活動成果

評価ポイント

現場の意見を取り入れて燃費改善を実現

車両の使用用途や車両タイプ別に実施するエコドライブの工夫

日々のエコドライブに加え、車両タイプ別に様々な工夫を取り入れている。普通貨物車両では、運搬用途に廃プラスチック類を増やし積載量を軽減。さらに運行ルートの見直しを行い、エコドライブとの相乗効果により、2020年度で燃費が41%向上した。

また、短い距離の運転が多く燃費向上が難しい中、現場のドライバーが主導的に対策を考案。加速や減速を丁寧に行い、アイドリングの時間を減らすなど工夫を重ね。中型貨物車両では7%、大型貨物車両では12%の燃費向上を達成。堅実な取組を続けていくことで、大幅な燃費改善につながった。



燃費管理・分析

継続実績と方策

評価ポイント

活動を継続させるための意識醸成の取組

朝礼や車両清掃でドライバーのエコドライブ意識をアップ

継続が大切であるという考え方から、毎日朝礼にて「エコドライブ10のすめ」から1標語を唱和。エコドライブの意識付けを行っている。

さらに、ドライバーが安心して運転できるよう、常に自社内で車両整備や清掃を徹底。整備された綺麗な車両と清潔な服装で仕事ができる環境を構築することで、ドライバーのエコドライブの実施度合いが高まった。

小さな取組も着実に実行・継続したことで、エコドライブ意識だけでなく運転行動にも変化をもたらした。



車両清掃の徹底



公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

エステー株式会社

所在地：東京都新宿区下落合1-4-10

業務内容：日用品メーカー

拠点数：9

従業員数：953名

車両数：111台

活動実績：1年



2021年の活動開始から段階高でレベルの高いエコドライブ活動を実施

環境に関する取組として「みんなの地球の空気のために」をテーマに脱炭素化・再資源化の取組を推進。その一環としてCO2排出力削減を目的にエコドライブ活動を開始。

2021年から活動を開始し自社で作成した資料や動画などを活用した教育を実施。今後も活動の趣向を凝らし、更なる燃費改善を目指す。

エコドライブ活動の成果

2021年度エコドライブ活動スタート
1.4%燃費向上
(全車)
無事故継続
(重大事故)

受賞事業者の声

弊社の取組を「優秀賞」として評価頂きまして、誠にありがとうございます。今回の受賞は、当社の事業活動において大きな励みとなります。弊社は、気候変動への対応を重視すると捉えていますので、引き続き、安全運転・エコドライブを実践し、環境保護に取り組んでまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

	全体取組 体制・目標	環境への取組の一環として、エコドライブ活動を推進 ・営業本部長をトップとしたエコドライブ活動体制を構築
	環境問題 教育資料	・社内広報を作成し、環境問題とエコドライブの情報を周知 ・独自に教育資料を作成、展開
	燃費管理 燃費目標	・運転日報と社内システムを活用し燃費を管理
	燃費向上 事故管理	・2021年度比1.4%燃費向上(全車) ・事故件数について管理し、安全運転実例や運転活動推進委員会にて結果を徹底共有
	対外活動 活動実績 エコカー等 独自工夫	・2021年11月より活動開始 ・ハイブリット車導入率を高く、2022年3月目前で既存の内燃機関車両全てがハイブリット車へ置き換え完了 ・安全運転やエコドライブの取組に関して支店ごとに社長賞を授与される

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価
ポイント
エコドライブに跨らない幅広い環境活動

CO2排出量の削減を目的とした様々な環境への取組

ESG取り組みに基づき、エコドライブ活動を実施。営業本部本部長をトップに、営業支援グループが中心となってエコドライブ活動に取り組んでいる。
また、営業車のエコドライブ活動以外にも会社としてのCO2排出量削減を目的に、再生エネルギーの導入を推進。

他にも、自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換するモーダルシフトの推進など、環境に配慮した取組を積極的に実施。



中長期ESG推進プラン
[空気をかえようAction 2030]

教育の実施

評価
ポイント
従業員の運転レベルに合わせた実車講習

ドライバーへのアンケートを実施し取組を改善

営業車を使用する従業員に対して、年に1度エコドライブに関する座学講習を実施。講習内容についてアンケートを行い、次年度以降の改善に役立てている。

また、車の運転に慣れていない新入社員が増えていることから、座学のみではなく毎年新入社員に対してドライビングスクールでの実車講習も実施。座学だけでなく実車での講習も行うことで、実地的なエコドライブ教育が可能。



アンケート結果の分析

教育の実施

評価
ポイント
教育資料を自社内で作成することで管理者側もレベルアップ

自社作成資料や動画で行うドライバー教育

自社でセーフティ＆エコドライブNewsという独自資料を月に1度作成し、発行。エコドライブのコツや走行パターン別のポイントなどをまとめており、従業員へ適切な情報提供を行っている。

さらに、コロナ禍で外部講師を招いての講習が実施できなかったため、自社で動画を作成。各事業所に視聴してもらうことで、継続してエコドライブ教育を実施。

エコドライブ教育を最大限工夫することで、短期間で高い活動レベルを実現。



セーフティ＆エコドライブNews

燃費管理

評価
ポイント
燃費改善に向けた徹底的なデータ活用

社内システムを活用した燃費管理・燃費分析

車両ごとに日々の走行距離と給油量を運転日報に記録。燃費データを社内システムで管理し、車両ごとの月間燃費などを一目でわかるように保管している。さらに、このデータをもとにエコドライブの進捗資料を毎月作成し、拠点ごとの燃費改善率も算出。

燃費データを徹底的に分析することで今後の改善に役立てている。

さらに、四半期ごとにエコドライブ安全ドライブ報告書を作成し、社内に活動の成果を報告することでエコドライブ意識の維持を図っている。



エコドライブ進歩資料・
エコ安全ドライブ報告





株式会社エコワスプラント

所在地：東京都西多摩郡日の出町平井22-10
業務内容：産業廃棄物中間処理業・収集運搬業
拠点数：2
従業員数：82名
車両数：43台
活動実績：10年



トップダウンからボトムアップへ融通勘案、全社で取り組むエコドライブ活動

環境方針を部署ごとで策定し、全社で積極的にエコドライブ活動を推進。また、ドライバー教育にも力を入れており、組織として燃費改善への意識向上を図っている。

毎年取組の見直しを図り、ボトムアップによる新しい課題を採用することで、継続的なエコドライブ活動の発展・進化をこれからも続けていく。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	部門別エコドライブ活動宣言を策定、企業全体の取り組みとして実施	 部門別エコドライブ推進リーダーを配置して各部門の推進
	体制・目標	法定点検に加え社内独自点検の実施、管理表・日報などを作成し活用	 車両改善に向けた新規・既存車の展示
教育の実施	環境知識	独自のドライバーマニュアルを作成し、全ドライバーに配布・勉強	 車両に記載した「運転人」の責任に向けた研修・運転者の展示
	教育資料	入社後の一連の研修を経た後も、再研修や改善指導を実施	 地理知識化とドライバーコード認証
燃費管理	燃費目標	日報データを運行管理課がデータ入力し車種別に燃費集計	 各グループ間に情報を交換して、各自各自でも目標を設定
	燃費向上	事故件数の減少、継続的効果として削減された保険料の還元実施	 2020年度比 5%向上(運転中堅)
活動成果	事前管理	自社HPにてエコドライブ活動の取組を発表	 主幹職にテレマティクス機能を導入
	対外活動	2013年より活動開始	 「チャレンジ無事故180日」など参加型のイベントを開催 名古屋の「見える化」で事故の把握と競争意識や連帯感を高める
運営実績と方策	エコカー等		
	独自工夫		

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

効率的な輸送を実現しCO2排出量を削減

エコドライブ活動を通じた経営改善

今年度は前年度比で産業廃棄物の処理量は増加しているが、会社全体における車両の走行距離は減少。昨年より効率的な輸送を実現し、輸送重量あたりのCO2排出量を削減している。

また、関東圏では産業廃棄物の最終処分場がなく、広域輸送が必要になる際はフェリーや鉄道などによるモーダルシフトを実施。費用面では自社トラックで輸送した方が安いが、CO2排出量削減の観点で取り組んでいる。



モーダルシフト

教育の実施

評価ポイント

業界団体に対する自社ノウハウの展開

エコドライブビデオを作成し業界団体に提供

エコドライブ普及のため、自社制作のドライバーマニュアルを業界団体に提供。共通マニュアルとして全組合員に配布している。

また、同社の代表取締役社長が主体となってエコドライブビデオを作成し組合員に配布。全組合員でのエコドライブ活動コンクールへの参加も呼び掛けしており、業界全体でエコドライブ活動を推進していく活動を実施。業界団体を通じて業界内へのエコドライブの普及を行っている。

建廢ゼミ

廃棄物の低減化と比較



建設廃棄物削減組合

エコドライブビデオ

燃費管理

評価ポイント

ドライバーに役割を与え主体性を引き出す工夫

テレマティクスサービスを活用した効率的な改善の取組

テレマティクス機器を全車に導入。急挾動データを基にヒヤリハットの動画を検出し、乗務員会議で映像を視聴。また、テレマティクスサービスのエコドライブ点数が悪いドライバー、トラックメーカー主催のエコドライブ講習に参加し、社内での改善リーダーとして研修内容を社内に展開。

さらに、危険な運転があったドライバーに対しては、ドライブレコーダーの該当シーンをチェックし指導している。



ドライブレコーダーと分析結果

活動成果と評価

評価ポイント

活動によるコスト削減効果を活用したインセンティブ設計

削減した保険料金などをドライバーに還元

社員からの提案で車両管理システムを導入し、事故などの情報分析に活用し事故低減化を図っている。その効果もあり事故件数が減少。その継続的効果として保険料金も減少しており、削減された保険料を社員に還元している。

無駄な運行時間を削減したドライバーに対して削減分を報酬手当として支給。この手当の導入によりドライバーが効率的な運行ルートを自動的に考え無駄な走行を削減したうえ、事前に渋滞を回避するなどの工夫を行なうドライバーが増加した。



事故件数と継続的効果



公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation



ネッツトヨタ山形株式会社

所在地：山形県山形市東青田5丁目1-1
業務内容：自動車販売業
拠点数：13営業所
従業員数：326人
車両数：326台
活動実績：9年



多数のイベント開催や会社全体に向けての情報発信で、より波及効果の高いエコドライブ活動

「チームネッツ」に属する全ての首まと一緒に、笑顔と幸せであり続けるため、その想いを掲げ全11店舗でエコドライブ活動を推進。対外向けのエコドライブ教室はこれまでに約500組のお客さまが参加。自社内の教育や周辺地域へのエコドライブの普及活動など、様々な取組を組み合わせることにより活動の幅を拡大している。

エコドライブ活動の成果

2023年度比

12%燃費向上
(HV車)
事故違反の減少

受賞事業者の声

この度は「優秀賞」をいただき、誠にありがとうございます。弊社のネッツセーフティ＆エコドライブ教室の活動もお客様で10年目を迎えことができました。今後の授業を楽しみにこれからもエコドライブ活動を推進してまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

	全体取組 体制・目標	CSF方針に基づき、全11店舗でエコドライブ実施
	店舗・職場 環境問題 教育資料	・毎月、店舗管理者や技術担当者がメンテナンス実施の状況を確認
	教育の実施 教育実施	・ショールームへの啓発ポスターの掲示 ・チラシ配布による啓蒙活動 ・エコドライブ10のすすめを活用
	燃費管理 燃費目標	・エコドライブコンテストで燃費改善のモチベーションアップ
	燃費向上 事故管理	・2022年度比 12%向上(HV2000cc以下)
	対外活動 活動実績	・企業、アカデミー、大学生、小学生向けの教室の開催を主催
	エコカー導入 独自工夫	・2014年4月より活動開始 ・「ネッツ・エコドライコンテスト」チームや個人で燃費などを競い合い、事故削減や燃費改善

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価
ポイント

資格保有者を中心とした強固な活動体制

エコドライブなどの知識を習得した環境マイスター
(=現脱炭素コミュニケーター)を各店に配置

各店に数名ずつ、地球温暖化や環境及びエコドライブに関する知識を習得した「環境マイスター資格保有者(現脱炭素コミュニケーター)」が在籍。本社サポート本部と各店舗の環境マイスター資格保有者を中心に活動体制を構築。また、全社員がエコドライブの普及を通じて、お客さまとそのご家族、地域の皆さまに「町のいちばんの私のお家のクリスマさん」として運転方法をアドバイスしてお役に立つことを目的とし、同社のエコドライブ活動の中心である「ネッツセーフティ&エコドライブ」を実践。



営業スタッフが使用するチラシより

教育の実施

評価
ポイント

全社で朝礼時にセーフティ&エコドライブ教育を実施

一人ひとりのセーフティ&エコドライブのノウハウを全社員に共有

毎朝、全店舗にて朝礼当番が「セーフティ&エコドライブ」について、みんなの前で自分自身の運転の振り返りや運転した際に気づいた点を話し、団からアドバイスをもらっている。結果、一人ひとりの当事者意識を高め、参加者全員で情報を共有している。また、全社員がエコドライブ講習を受講することで、エコドライブの知識や習慣を根付かせている。新人社員が入社した際には、同様の講習をそのまま実施して新規ドライバー教育を徹底。



ネッツエコドライブ講習会

活動成果

評価
ポイント

先進安全機能の体験で、輪を広げた環境保全活動を実施

約500組に及ぶ顧客に向けたエコドライブ教室の開催

2015年から「ネッツ・セーフティ&エコドライブ教室」を全11店舗で開催し、延べ499組の方が参加。新型車両の試乗や先進安全機能の体験、燃費計画用方法の伝授などイベントを通じてエコドライブを普及。近年は燃費改善だけでなく「セーフティ(安全運転)」の内容を組み合わせることで活動の幅を拡大。

2017年からは取引先や役所、地元サッカークラブなどにも対象を増やして実施している。さらに、今まで販売業務に注力していた休日にもイベントを開催することで若年層参加率向上を実現。



地元サッカーカラーブでの講習風景

活動成果

評価
ポイント

カテゴリーを排気量毎に3分け、HEV車部門も実施

店舗や個人で燃費などを競い合いモチベーションをアップ

店舗や個人で燃費などを競い合う「ネッツ・エコドライコンテスト」を実施。カテゴリー毎に排気量で3部門に分け、HEV車部門も実施。各部門ごとに毎月の平均燃費・最高燃費のランキングでポイントが獲得でき、各カテゴリーの年間王者を表彰。同社では個別の燃費目標などは設定しておらず、燃費ランキンギで上位を目指すことが各ドライバーのモチベーション維持につながっている。



ネッツ・エコドライコンテスト実施式



公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transition



シスメックス株式会社

所在地：兵庫県神戸市中央区國際港湾南通1丁目5番1号
業務内容：廃床検査機器、検査用試薬などに関連するソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入
拠点数：25
従業員数：3,148名
車両数：385台
活動実績：4年



エコドライブ基盤やリース会社のサービスを活用した効率的なエコドライブ基盤

本社環境活動計画に社用車燃費目標を明記し、会社全体の取組としてエコドライブ活動を実施。リース会社と協力してテレマティクスサービスを活用し、効率的なドライバー教育を実施。

また、推進担当者が「優秀事例を全社に共有するためインタビューを実施」するなど、エコドライブ活動がレベルアップする工夫も実施している。

エコドライブ活動の成果

2018年提出

2%燃費向上
(ハイブリッド車両
2000cc以下)
事故件数55%削減
(すべての事故)

受賞事業者の声

今日は大変栄誉ある「優秀賞」をいただき、誠にありがとうございます。これまでの弊社の取組が評価され、大変嬉しい限りです。また、弊社では「シスメックスエコビジョン2033」を達成するためにエコドライブに加え、様々な環境に関する取組を今後も続けてまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

	全体取組	エコドライブに関する項目を統合して全社展開
	体制・目標	活動計画を立て四半期ごとに進捗を管理
	点検・監査	点検の漏れがないようリース会社と協力して仕組みを構築
	環境問題	エコドライブの効果やCO2の排出量などを記載した資料を作成
	教育資料	リース会社から提供される資料も教育に活用
	燃費管理	本社管理者が燃費記録を管理
	燃費目標	燃料使用量の削減及び燃費改善目標を設定
	燃費向上	2018年度比2%向上(HV2000cc以下)
	事故管理	事故の原因と対策をテレマティクスフィードバックに合わせて実施
	対外活動	
	活動実績	2018年度より活動開始
	エコカー導入	テレマティクス運行データの分析結果をフィードバック
	独自工夫	

エコドライブ活動 主な応用取組

教育の実施

評価
ポイント

リソースを有効活用しエコドライブを効率的に実施

テレマティクスサービスデータを活用した継続的なエコドライブ活動

エコドライブ活動ではリース会社より導入したテレマティクスサービスを活用。テレマティクスサービスデータを本社管理者が毎月分析し、ドライバーへフィードバックを実施している。

また、自社内で実施するエコドライブ講習では総務部が作成したものだけでなく、リース会社が提供するエコドライブや安全運転の教育資料を活用するなど、社外のリソースを有効に活用しながら効率的にエコドライブ活動を行っている。



テレマティクス機能を導入

教育の実施

評価
ポイント

映像を活用した納得感のあるドライバー指導

エコドライブ支援機器を有効に活用した安全指導を実施

テレマティクスサービスによるドライバーの運転評価を各拠点の安全運転管理者に毎月フィードバック。さらに、危険挙動が検知された場合は、各安全運転管理者がドライバーレコーダーの映像を用いてドライバーに個別にヒアリングと改善のための指導を行っている。単に危険挙動の検知数について指摘するのではなく、ドライバーにとって納得感のある教育を実施することで急加速などの危険運転を削減している。



映像を活用した教育

活動成果

評価
ポイント

好事例の共有とモチベーションのアップを同時に実施

インタビューを実施し優良事業所の事例を全社に共有

事業所ごとの横断分析にもテレマティクスサービスのデータを活用。分析の結果、ドライバーの運転評価が高い事業所は事故も少ないことが分かったため、成績がいい事業所にインタビューを実施した。エコドライブ活動でメンバーのモチベーションを維持する秘訣や、無事故を維持する注意点などのヒアリングを行い優良事業所として全社に紹介。さらに、ドライバーの表彰も実施することで好事例の共有とモチベーションのアップを同時に実施している。



優良事業所の事例紹介

継続実績と方策

評価
ポイント

CO2排出量を削減するための会社としての工夫

ドライバーにアイドリングをさせない工夫

営業訪問の際に移動先の車内で業務を行う社員が多く、アイドリング時間が長いという実態が調査で判明したため、シェオフィスを導入。移動先でも業務ができるようになり、無駄なアイドリングが発生しないように工夫した。

単にアイドリング時間を減らすよう指導するのではなく、会社としてアイドリング時間が減らせるよう、どのような取組ができるか考え実行に移している。



シェオフィスを活用





株式会社利根川産業

所在地：東京都足立区入谷8-3-8
業務内容：廃棄物処理業
拠点数：1
従業員数：109名
車両数：27台
活動実績：13年



収集運搬システムや業務支援ツールの活用による効率的なエコドライブと安全運転

2011年よりエコドライブ活動を開始し、業務支援ツールを活用することで業務の効率化や従業員とのコミュニケーションを円滑に取り工夫を凝らす。

GPS搭載タブレットの収集運搬システムにて走行軌道の可視化することで、効率的なルートの選択が可能となり、移動時間の短縮と燃料消費の最適化を図る。

今年は「エコドライブ＝安全」をテーマとして、安全運転を意識することでエコドライブが自然と身につき、環境と安全の両面での成果が見られた。

エコドライブ活動の成果

2014年度比

5%燃費向上
(全車)
事故件数-
(保険適応)

受賞事業者の声

この度は環境大臣賞という栄誉ある賞をいただき、大変光栄に思います。エコドライブの取組は、燃費向上やCO₂削減だけでなく、安全運転の意識向上にもつながる大切な活動です。この褒賞を励みに、これからも社員一丸となり、環境保護と交通安全に貢献できる企業を目指して努力を続けてまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 全体会議 体制・目標 点検・監査 	<ul style="list-style-type: none"> 年間平均燃費3%向上・重大事故の運動、車両燃費削減を社内活動 業務部 収集運搬部門が推進組織として活動
教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> 環境認識 教育資料 	<ul style="list-style-type: none"> エンジンストップポスターを洗車場に掲示 エコドライブ10のすすめなどを教育資料として配布
燃費管理	<ul style="list-style-type: none"> 燃費管理 燃費目標 	<ul style="list-style-type: none"> 燃費管理責任者を定め、車両燃費基準を設定
活動成果	<ul style="list-style-type: none"> 活動実績 対外活動 	<ul style="list-style-type: none"> kintoneにて、事故推移・発生事故内容・金額などを管理
職場実績と方策	<ul style="list-style-type: none"> 活動実績 エコカー等 独自工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 2011年より活動開始 デジタルタコグラフを使用



公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

社員のモチベーション向上を促す社内イベントの開催

エコドライブランキングの実施

CO₂排出量を減らす目的で始められた「環境にやさしい運転」を競う社内イベントでは、6か月間にわたり燃費データを集計し、成績が優秀な上位3名には報奨金と賞状、環境保護を象徴するステッカーが授与される。このイベントは、社員による日常の運転習慣の改善を促すとともに、エコドライブの重要性を浸透させることで、企業全体の環境保全意識を高める効果がある。参加者は、CO₂排出の削減だけでなく、燃料消費の効率化にも貢献し、持続可能な運輸業務の実現に向けた実践的なステップを踏んでいる。



エコドライブランキング

活動成果

評価ポイント

走行ルートの最適化による消費燃料の最適化

収集運搬システムの活用による行動の最適化

GPS搭載タブレットを用いた収集運搬システムを導入し、走行軌道の可視化とルートの最適化を行っている。このシステムにより、運転ルートが効率化され、無駄な走行が削減されることで燃料消費が最適化されている。結果として、運送業務の効率が向上し、環境への負担も軽減されている。この取組は、持続可能な運輸活動を支援し、コスト削減と環境保全の両方に貢献している。



GPS走行軌跡データ

教育の実施

評価ポイント

業務支援ツールの活用による効率的なコミュニケーション

ビジネスチャットツールを活用した社員への情報共有とフィードバックを実施

全従業員と一緒に集めることができないため、LINE WORKSを活用して運転指導などの個別対応を行っている。また、kintoneを用いて、指導履歴や情報共有内容などをクラウド上で管理し、各人の伝達が欠漏することを防止。業務支援ツールの導入により、コミュニケーションの効率化と情報共有の精度が向上し、業務効率も大きく改善されている。これによって、運転地にいる従業員も含め全員がタイムリーに情報を得られる体制が確立されている。



LINE WORKS

教育の実施

評価ポイント

実例を活用した教育と継続的な学びの提供

専門家からの事故解説

事故発生後に再発防止面談を実施。また、安全教育の一環として毎月実際の事故映像が専門家によって解説され、社員に配信されている。この生きた教材を用いることで、社員は事故の具体的な状況と危険性を深く理解し、安全意識の向上に努めている。実際の事例を通じて得られる洞察は、事故の再発を防ぐための重要な手段となっている。



事故再発防止動画

審査委員長特別賞・優秀賞受賞事業者のエコドライブ支援機器・サービス紹介



沖縄トヨタ自動車株式会社

所在地：沖縄県浦添市勢理客4-18-1

業務内容：サービス業

施設点数：26店舗

従業員数：969名

車両数：924台

活動実績：12年



エコドライブ活動の全国への波及と継続的な取組

2011年のエコ宣言をきっかけに、2012年よりエコドライブ活動をスタート。交通事故ゼロとカーボンニュートラルの達成に沖縄の社会課題解決に貢献することを目指し、エコドライブ活動に取り組む。

社内だけではなく社外にも波及性の高いエコドライブ活動を積極的に実施。さらに、以前から開催していたエコドライブコンテストを九州地区の販売店まで拡大させ、エコドライブを県内だけでなく全国へ広げている。

エコドライブ活動 主な基本取組

	体制・目標	・グループの全社員大会にて、社長よりエコドライブ活動の重要性を発信 ・運営責任者(社長)を中心に各部門を駆使して全社員での活動を展開し、社内の交通安全意識を高めます
	点検・研修	・社用車・店舗管理部門については、法定定期点検を実施 ・交通事故撲滅
	教育の実施	・車と地球環境問題に関する資料を作成し、新人研修などで活用 ・毎年新入社員研修での参加登録や教育資料をデータにて保存
	燃費管理	・燃費王サイトを活用し、各個人のデータを報酬本部にて一括管理 ・各個人の車両ごとに目標燃費を設定
	活動成果	・2022年度比で53.8%燃費が向上 ・2022年度比で43%削減
	対外活動	・2012年より活動開始
	活動実績	・エコドライブ活動の認知づけのため、エコドライブ強化月間を毎年実施
	エコカー等	・社有車/試乗車の約6割以上はHEV車・PHEV車・EV車を使用
	独自工夫	・エコドライブ活動の認知づけのため、エコドライブ強化月間を毎年実施

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント 手軽に燃費を登録できる環境づくり

燃費王サイトとLINEを活用した燃費管理

社内における燃費管理の効率化を図るため、燃費王サイトを活用。このサイトとLINE公式アカウントを連携させることで、従業員の入力および管理の手間ができる限り省くことができ、継続しやすい取組を実現。



燃費王サイト

取組体制の整備

評価ポイント 毎月エコドライブを意識させる工夫

全社員向けのエコドライブテーマの発信

毎月、全社員に向けてエコドライブに関する資料を展開。

継続的なエコドライブの情報提供により、全社員の意識向上に寄与している。さらに、エコドライブの意識を高めるために、エコドライブ強化月間を設定し、意識向上に努めている。



エコドライブ資料

燃費王 ~FUN TO ECO DRIVE~

エコドライブを通じて行う社会貢献活動

企業と連携して、エコドライブ活動を実施。

活動を通じて貯めたポイントを県内のこども食堂などへ寄付できる「スマイルライスプロジェクト」を開催。

その他、お客様と社員の貯めたポイントを活用し、メッシュサポート(ドクターへり)や交通安全育成会などへも寄付活動を行っている。

このような社会的意義のある活動が、社員のエコドライブに対するモチベーションに良い影響を与えていている。



スマイルライスプロジェクト

燃費王決定戦の地域拡大

2011年から沖縄県内で開催していた燃費王決定戦を全国へエコドライブを広げるため、2023年に燃費王決定戦九州沖縄大会を開催。九州から25チームが参加。

九州のトヨタ販売店に「交通事故ゼロ」「カーボンニュートラルへの貢献」を訴求し、エコドライブ活動を全国へ拡大させる第一歩となった。



燃費王決定戦 九州沖縄大会



公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation



さいたま市役所

所在地：埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-4
業務内容：行政機関
拠点数：15
従業員数：16,315名
車両数：707台
活動実績：16年



庁内外にエコドライブを波及させる堅実な活動

市役所が主体となって地域のエコドライブを推進。公用車へのエコカーの導入や燃費改善を積極的に行う他、職員への教育やマイラーでのエコドライブ推進など、府内の体制を整える。

公的機関である強みを生かし、イベントへの出展やセミナーの主催など、市内にとどまらず市外・県外を巻き込んだ活動を行っている。

エコドライブ活動の成果

2006年度比
26%燃費向上
(HV車2000CC以下)
事故件数40%削減
(重大事故)

受賞事業者の声

本市の長年の取組を「優秀賞」として評価していただき、ありがとうございます。今回の受賞は今後の活動の大きな踏み石となります。
環境負荷の低減や交通安全のため、今後も市役所に適切な運転「エコドライブ」の実践、普及啓発に努めてまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

	全体取組	職員の率先行動として「エコドライブ取組方針」に基づきエコドライブを実施
	体制・目標	公用車運用の手引きを定め、公用車を使用するごとに日常点検により点検を実施
	点検・監査	スマイルドライビングニュースでエコドライブ啓発
	環境回覧 教育資料	エコドライブ取組方針・実施要領を定め、職員に周知
	燃費管理	運行記録表による燃費管理と燃費改善目標、データ分析による改善策実施
	燃費目標	エコドライブ取組方針に基づき、2025年度末までに走行距離あたりのCO ₂ 排出量2006年度比35%削減を掲げる
	燃費向上	2006年度比26%向上(HV車2000cc以下)
	事故管理	事故内ごとに集計し推移を把握
	活動成果	イベント出展やセミナーの主催で市民や事業者への啓発を実施
	組織実績 方策	2008年にエコドライブ取組方針を策定し、エコドライブの全般的な取り組みをスタート 電気自動車普及施策「E-KIZUNA Project」に取り組み、公用車を新規に導入する際は原則として次世代自動車としている
	独創工夫	九都県市で講演セミナーを実施、デジタルサイネージへの掲載

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

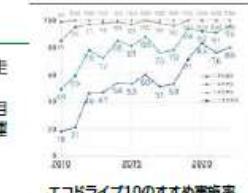
評議
ポイント

エコドライブの地盤を堅実に固める

公用車の運転をエコドライブに

市役所全体でエコドライブを推進し、緊急車両を除くすべての公用車の走行実績と燃費消費量を把握。

また、職員の「エコドライブ10のすすめ」全項目の実施率100%達成を目指している。職員向けにはエコドライブ教習も実施しており、持続可能な運転習慣を目指す。



教育の実施

評議
ポイント

公的機関の強みを生かした情報発信



イベントでの啓発

市民と共に進めるエコドライブ活動

市のイベントに積極的に出展し、訪れた市民にシミュレーターを使ったエコドライブを体験してもらうことで、エコドライブの輪を広げる。

また、意見と共にエコドライブの啓発を実施し、世代を超えて環境問題に対する意識の向上を図る。

継続実績と方策

評議
ポイント

九都県市での連携や情報の収集



九都県市エコドライブセミナー

県を跨ぐエコドライブの啓発

九都県市で広域的に大気汚染対策に取り組むため大気保全専門部会を設置し、エコドライブを推進。

エコドライブ活動コンクール大臣賞受賞者を講師に招いた九都県市エコドライブセミナーを開催することで、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の事業者に啓発を行う。

継続実績と方策

評議
ポイント

定期的なエコドライブの意識づけ

庁内での徹底した意識醸成

毎月22日を独自に「エコドライブの日」と定め、職員向けにエコドライブを啓発する機関紙を発行。他にも庁内電子掲示板での啓発やのぼり旗の設置を行う。

また、オリジナルグッズとしてステッカー・キーホルダーを展開・配布しており、より身近なものとしてエコドライブ活動を啓発している。



キーホルダーの配布

実践方法



公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transition

エコドライブ 活動コンクール



2025年度



国土交通大臣賞



環境大臣賞

参加費用
無料

事業部門 トラック、バス、タクシーなどの運送事業者

一般部門 移動などの業務上で車両を使用している事業者

支援ビジネス
ユニーク部門 メーカー等の企業によるエコドライブを支援する機器やサービス
運輸事業部門での脱炭素やカーボンニュートラルに向けた実施策など
さまざまな主体が実施するエコドライブに関する独自の取り組み

応募期間 5/8木～7/8火

主 催 公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団

■後援

「エコドライブ普及連絡会」
(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)「エコドライブ普及推進協議会」
(一社)日本損害保険協会、(一社)日本自動車工業会、
(一社)日本自動車リース協会連合会、(公社)日本バス協会、
(一社)日本自動車連盟、(公社)全国トラック協会、
(一社)全国自動車販売協会連合会、(一社)日本自動車販売協会連合会、
(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社)全国レンタカー連合会、(一財)環境優良車両普及機構、(一社)日本自動車運行管理協会、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団

概要

主 催

公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

後 援

「エコドライブ普及連絡会」(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)
「エコドライブ普及推進協議会」

(一社)日本損害保険協会、(一社)日本自動車工業会、(一社)日本自動車リース協会連合会、(公社)日本バス協会、(一社)日本自動車連盟、(公社)全国トラック協会連合会、(一社)全国自動車販売協会連合会、(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社)全国レンタカー連合会、(一財)環境優良車両普及機構、(一社)日本自動車運行管理協会、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団

スケジュール

募 集 対 象

①応募期間: 2025年5月8日(木)～7月8日(火)

②表彰式: 2025年11月下旬に開催予定の「2025年度エコドライブシンポジウム」の会場で
国土交通大臣賞、環境大臣賞、審査委員長特別賞、優秀賞を表彰。

事業部門 (生に緑ナンバー)	自社の車両を保有 (リースを含む) するトラック、バス、タクシーなどの運送事業者。
一般部門 (生に白ナンバー)	移動などの業務上で車両を使用している事業者。自社の製品等を運搬している場合を含む。
支援ビジネス・ユニーク部門	メーカー等の企業によるエコドライブを支援する機器やサービス。 運輸事業部門での脱炭素 (カーボンニュートラル) に向けた実施策など。 (例) 荷主や運送事業者における炭化水素エネルギーへの転換に向けた取組みなど さまざまな主体が実施するエコドライブに関する独自の取り組み。 (例 SDGs とコラボレーションしたエコドライブの取組みなど)

表 彰

● 国土交通大臣賞	【事業部門】	1 件	賞状及び記念品
● 環境大臣賞	【一般部門】	1 件	賞状及び記念品
● 審査委員長特別賞	【支援ビジネス・ユニーク部門】	数件	賞状及び記念品
● 優秀賞	【事業部門 / 一般部門】	6 件程度	賞状及び記念品

参 加 費 用

*一定レベル以上の活動をしていると評価された場合は、「優秀賞定期」「優良賞」「優良認定賞」を授与してきました。継続しての応募をお勧めいたします。
*大臣賞を受賞した事業者は、その後の3回のコンクールでは受賞できません。優秀賞の場合はその後の2回のコンクールでより上位の賞を取れば受賞できません。

無 料

応募や募集要項の詳細はホームページにて公開中!

エコドライブ活動コンクールへの参加はホームページより受付中です。
本コンクールについてのお知らせ、募集対象、審査項目、応募の流れについても掲載しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。

アクセスはこちらから

PCやタブレットの場合
QRコードを読み込むことで
アクセスできます

パソコンの場合は「エコドライブ活動コンクール」で検索することでアクセスできます

<URL>
<https://www.ecodrive-activity-concours.jp/>

問い合わせ先

株式会社アヌア

(事務局窓口業務委託先)

〒453-0804 愛知県名古屋市中村区黄金通一丁目11番地 アヌアビル

TEL: 052-452-6886 (平日10:00-17:00) Mail: eco-drive@asua.ne.jp

公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation



この活動の一環として、2011年度から「エコドライブ活動コンクール」を開催して優れた取組を行っている事業者を表彰し、その取組内容を紹介することでエコドライブの更なる普及や運輸事業部門の脱炭素化を図っています。

今年のコンクールについて

今年度は、事業部門、一般部門、支援ビジネス・ユニーク部門の3部門で実施いたします。また、最も優れた取組に対して、事業部門では国土交通大臣賞、一般部門では環境大臣賞が授与されます。運輸事業者はもちろんのこと、一般企業からNPO・任意団体・グループなどの幅広い参加をお待ちしております。

事業部門(主に緑ナンバー)	自社の車両を保有(リースを含む)するトラック、バス、タクシーなどの運輸事業者。
一般部門(主に白ナンバー)	移動などの業務上で車両を使用している事業者。自社の製品等を運搬している場合を含む。
支援ビジネス・ユニーク部門	<p>メーカー等の企業によるエコドライブを支援する機器やサービス。 運輸事業部門での脱炭素化(カーボンニュートラル)に向けた実施策など。 (例:荷主や輸送事業者における非化石エネルギーへの転換に向けた取組みなど) さまざまな主体が実施するエコドライブに関する独自の取組みなど) (例:SDGsとコラボレーションしたエコドライブの取組みなど)</p> <p>*事業部門や一般部門との重複応募も可能です。 *詳しくは事務局までお問い合わせください。</p>

参加メリットは?

社内の
意識向上・活性化
につながります

エコドライブ推進の
支援ツール
が手に入ります

自社の活動レベルを
客観的に評価
できます

参考となる他社の
優秀な取組事例
が手に入ります

審査の基準は?

本コンクールの事業部門と一般部門では、燃費の改善状況だけを審査するものではなく、事業者のエコドライブ活動の取組内容を幅広い観点から審査します。

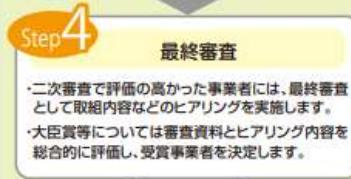
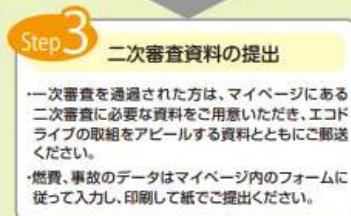
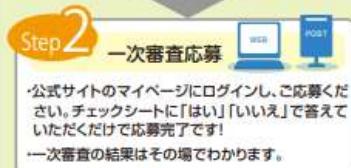
1. 取組体制の整備	どのような社内体制(方針、目標、管理体制など)で活動を行っているか。
2. 教育の実施	従業員にどのようなエコドライブの教育・指導を行っているか。
3. 燃費管理	どのような仕組みで燃費データを収集・管理しているか。
4. 活動成果	どの程度の燃費向上を達成しているか。 燃費以外の副次的効果とエコドライブ活動に対する評価をどのように行っているか。
5. 継続実績と方策	エコドライブ活動を継続するため、どのような取組を実践しているか。

*事業部門と一般部門では、継続して参加する事業者を推奨しています。そのため同点の場合は、継続して参加する事業者を優先して評価します。

*支援ビジネス・ユニーク部門は上記の審査基準によらず、エコドライブに関する特徴的な取り組みを評価します。



コンクールの流れは?



エコドライブ推進のための支援ツールは?

各種ツールを活用して活動を盛り上げましょう

エコモ財団で作成したエコドライブステッカー(130円/枚)、エコドライブテキスト(トラック版、乗用車版、各200円/冊)、「エコドライブ10のすすめ」(チラシ・リーフレット・ポスター(無料)、コンクールリーフレット(電子データ)、優秀取組事例集(電子データ)、参加登録証明書(電子データ)、燃費管理支援サイトなどを用意しています。



エコドライブステッカー
(130円/枚)



エコドライブテキスト
(200円/冊)



エコドライブ10のすすめ
(無料)



トラック版のエコドライブテキスト
(200円/冊)



乗用車版のエコドライブテキスト
(200円/冊)



エコドライブ10のすすめ
(無料)



エコドライブ10のすすめ
(無料)



コンクールルーム版
(電子データのみ提供)



燃費管理支援サイト
(無料・料金別途必要)



表彰された事業者の取組を紹介します。

コンクール応募企業の中から優秀な取組を行なっている事業者を表彰し、優秀事業者の取組内容を公式サイトで公表します。

優秀取組事例集

<https://www.ecodrive-activity-concoures.jp/data/jirei2022.pdf>



2025年度

エコドライブシンポジウム



2025年11月27日 木 13:30~16:05 (開場13:00)

場所：全ト協ホール 東京都新宿区四谷三丁目2-5 全日本トラック総合会館3階
四ツ谷三丁目駅より徒歩3分 (<https://jta.or.jp/map.html>)

定員：100名

概要

◆ 2025年度エコドライブ活動コンクール表彰式

国土交通大臣賞、環境大臣賞、審査委員長特別賞、優秀賞等の表彰をおこないます。

国土交通大臣賞 花王ロジスティクス株式会社 石狩LC
環境大臣賞 沖縄トヨタ自動車株式会社
審査委員長特別賞 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
eMotion Fleet株式会社

◆ エコドライブの取組紹介

国土交通大臣賞、環境大臣賞を受賞した事業者の取組発表に続き、支援ビジネス・ユニーク部門で審査委員長特別賞を受賞した企業からも発表をいただきます。

WEB配信

◆ 後日、エコモ財団YouTubeチャンネルにて シンポジウム開催動画を掲載予定！

(最新の情報はエコドライブ活動コンクール公式サイトにて随時お知らせします)



エコモ財団
YouTubeチャンネル

お申込

QRコード
より

QRコードを読み込み、
必要情報を入力のうえ、お申し込みください。



2025年11月21日(金)

※お申込受付につきましては、(株)新東通信に委託しております。

(添付資料「お申込書」に記載された当社の個人情報の取扱についてご確認の上、お申し込みください。)

主催 エコドライブ普及推進協議会／公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

2025年度

エコドライブシンポジウム

日時：2025年11月27日(木)
13:30~16:05 (開場13:00)

場所：全ト協ホール
東京都新宿区四谷三丁目2-5
全日本トラック総合会館3階
四ツ谷三丁目駅より徒歩3分



プログラム(予定)

1. 開会挨拶

- ・公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
- ・国土交通省
- ・環境省

2. 2025年度エコドライブ活動コンクール表彰式

- ・国土交通大臣賞、環境大臣賞、審査委員長特別賞、優秀賞等の受賞
- ・審査委員長講評

3. エコドライブの取組紹介

- ①「2025年度エコドライブ活動コンクール 国土交通大臣賞受賞事業者の取組」
花王ロジスティクス株式会社 石狩LC
- ②「2025年度エコドライブ活動コンクール 環境大臣賞受賞事業者の取組」
沖縄トヨタ自動車株式会社
- ③「2025年度エコドライブ活動コンクール 審査委員長特別賞の製品・サービス」
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
eMotion Fleet株式会社

*上記は、現時点での予定です。発表者・内容等は予告なしに変更することがありますのでご了承願います。

【お問い合わせ先】

エコドライブシンポジウム運営事務局 株式会社新東通信 TEL.03-3538-8011

担当：高橋・曾根・諏訪 eco-drive@jimukyoku-st.jp

主催者連絡先／(公財)交通エコロジー・モビリティ財団 担当：熊井・西川 TEL.03-5844-6276



公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

エコドライブ支援ツール



株式会社渡辺精工社・株式会社トワード「Eco-SAM」

株式会社渡辺精工社

所在地：東京都大田区田園調布本町57-4
業務内容：器材・工具類販売、各種製品の販売、ICTシステム販売・構築・展開・運用など

株式会社トワード

所在地：佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津166-13
業務内容：一般貨物自動車運送事業、情報システム開発販売業など



受賞事業者の声

私どもは、「Eco-SAM」でセーフティーエコドライブの文化を創り、地域環境貢献と交通渋滞削減に全力で取り組むことを使命として日々活動しております。今後もより貢献し、広くお客様に喜んでいただきたいと考えております。

エコドライブ活動を支援する製品・サービスの概要

渡辺精工社が販売するEco-SAMは、トワードが開発した波状運転指標という独自のロジックでドライバーのエコドライブの実施度合いを評価することができるサービス。導入事業者数が約1,500社で、搭載車両数は約30,000台の販売実績があり、車載器はシガーソケットから電源を取るだけで使える手軽さから、運送事業者だけでなく様々な業態の事業者に採用されている。

エコドライブの実施度合いを数値化する波状運転指数

波状運転指数はGPSより取得した車両の速度データから、エコドライブにおける理想的な速度変化との乖離を解析することで、無駄な加速や減速によるエネルギー消費を測定。波状運転指数は丁寧な発進や加減速の少ない運転、早めのアクセルオフなどで評価が高くなり、運転の滑らかさを数値化することによってエコドライブの実施度合いを評価している。

急発進や急ブレーキなどの発生で評価をするイベント検知型ではないため、運転をしている全ての時間でエコドライブの実施度合いを数値化することが可能。波状運転指数を意識した運転をすることでエコドライブ技術の向上などにつなげることができる。



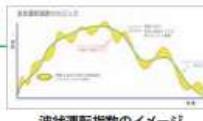
導入ハードルが低いシステム

車両のシガーソケットから電源をとるだけで使用できるEco-SAMは、ハードウェアの取り付けが簡単で比較的価格も安いため導入のハードルが低い。また、トラックやバスだけでなく一般的な乗用車にも導入できることから、運輸事業者や廃棄物処理事業者の他にも商社やメーカーといった一般事業者にも多く採用されている。

渡辺精工社によるEco-SAMの燃費改善効果調査

渡辺精工社が行った調査では、波状運転指数の評価が1段階良くなると2.4%ほどの燃費改善効果があるという結果になった。また、Eco-SAMを導入している顧客事業者の燃費データを独自に分析したところ、平均で13.6%の燃費改善が見込めるという調査結果となった。

Eco-SAMを導入している事業者からは燃費改善だけでなく、安全運転やタクシーであれば乗り心地の改善にもEco-SAMの波状運転指数が活用できるという声も上がっている。



波状運転指標のイメージ

車種	年齢層	運転時間	燃費
車種A	年齢層A	運転時間A	燃費A
車種B	年齢層B	運転時間B	燃費B
車種C	年齢層C	運転時間C	燃費C
車種D	年齢層D	運転時間D	燃費D
車種E	年齢層E	運転時間E	燃費E
車種F	年齢層F	運転時間F	燃費F
車種G	年齢層G	運転時間G	燃費G
車種H	年齢層H	運転時間H	燃費H
車種I	年齢層I	運転時間I	燃費I
車種J	年齢層J	運転時間J	燃費J
車種K	年齢層K	運転時間K	燃費K
車種L	年齢層L	運転時間L	燃費L
車種M	年齢層M	運転時間M	燃費M
車種N	年齢層N	運転時間N	燃費N
車種O	年齢層O	運転時間O	燃費O
車種P	年齢層P	運転時間P	燃費P
車種Q	年齢層Q	運転時間Q	燃費Q
車種R	年齢層R	運転時間R	燃費R
車種S	年齢層S	運転時間S	燃費S
車種T	年齢層T	運転時間T	燃費T
車種U	年齢層U	運転時間U	燃費U
車種V	年齢層V	運転時間V	燃費V
車種W	年齢層W	運転時間W	燃費W
車種X	年齢層X	運転時間X	燃費X
車種Y	年齢層Y	運転時間Y	燃費Y
車種Z	年齢層Z	運転時間Z	燃費Z

渡辺精工社による調査結果



株式会社DATAFLUCT「becoz drive」

所在地：東京都渋谷区道玄坂一丁目19番9号

第一晚ビル6階

業務内容：データプラットフォーム構築・運用支

援事業、DX推進支援・運用支援事業、

サステナブルデータビジネス事業



企業の車両運行による
CO2排出量可視化・削減支援サービス

受賞事業者の声

自走車廻路へのデータ活用は、脱炭素社会に大きく貢献ができると信じています。
こうした想いで開発した「becoz drive」が今後益々多くの実績を積み、大きな社会貢献度で、大きな社会貢献度で、今後も開発を進め、より多くの方に役立つサービスを目指します。

エコドライブ活動を支援する商品・サービスの概要

「becoz drive」は、企業の社用車や自家用車通勤シーンにおけるCO2排出量可視化・削減支援サービス。パイオニア株式会社と協業し、車の燃費・電力消費率を推定・予測するPiomatix for Greenの提供を受け、蓄積データによる渋滞回避のための情報レコメンドが可能。



渋滞回避への行動変容を促すアプリ

アプリを使用することにより渋滞回避=エコドライブ(アイドリング時間の削減)を実現する行動変容を促す。アプリからの渋滞回避の提案に応じた場合、渋滞回避を実行しようとした努力に対してポイントなどのインセンティブを付与。さらに、実際に渋滞回避を達成した場合にもインセンティブを付与しアプリ利用者の行動変容を促している。また、渋滞や混雑時間を回避する提案で、従業員に対する働き方改革の糸口になることも期待している。



専用アプリをインストールするだけ!
すぐ使える!

低い導入ハードルで普及しやすいサービス

車両側への専用デバイスの設置が不要で専用アプリをインストールするだけですぐ使えることから、スマートフォンだけで導入が可能。社用車だけでなく自家用車でも気軽に利用することができます。

地方ではマイカー利用者が多いことや、日本では車通勤率も高いことから自家用車の運転時における渋滞回避=エコドライブを実現することで、CO2排出量の削減という社会課題の解決を目指している。

働き方改革などCO2排出量削減だけでなくメリット

アプリを活用し渋滞回避することで通勤時間やガソリン代削減などの効果が見込め、エコドライブによるCO2排出量削減以外のメリットを従業員に対して与えることができる。

また、CO2排出量を算出する機能もあり、アプリを利用するだけでCO2排出量のおおよその把握ができ、どのようにCO2排出量を削減していくかの計画立案に役立てることも可能。



公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transition

エコドライブ講習

FINE ファイン・モータースクール
ファインモータースクール

HOME ファインの特長 コース・料金のご案内 教育運営 バス会社 ご入校の流れ

“安全”と
“環境”で
えらぶ時代に。
「楽エコ」教習！
RAKUECO LESSON

Environment & Safety

<https://www.fine-motorschool.co.jp/>

エコドライブ講習登録団体〔乗用車〕（京都府）

京都府	0057	山城自動車教習所	〒610-0301 京都府綴喜郡井手町多賀西北河原49	(TEL) 0774-82-2165 (FAX) 0774-82-5251	H21.6.26
	0082	まんき安全自動車学校	〒615-0056 京都府京都市右京区西院西貝川町72	(TEL) 075-872-1881 (FAX) 075-872-1892	H21.11.10
	0240	京都府峰山自動車学校	〒627-0004 京都府京丹後市峰山町荒山738	(TEL) 0772-62-0637 (FAX) 0772-62-6585	H26.7.28



エコドライブテキスト



乗用車の
エコドライブテキスト



トラック・バスの
エコドライブテキスト



公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団

公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団

https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/ecodrive_text_private.html

https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/ecodrive_text_truck.html

エコドライブ動画（アニメ）日本自動車工業会

jama
一般社団法人 日本自動車工業会



https://www.jama.or.jp/operation/ecology/eco-drive/eco_drive/index.html

ご清聴ありがとうございました



公益財團法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation